

井戸端 通信

Vol.33 発行 平成20年3月22日

〒930-0096
富山市舟橋北町7-1
富山県民生涯学習カレッジ内
自遊塾広報部

自遊塾は人生の楽園

平成19年度自遊塾副塾長 加藤 利雄

講座も回を重ねる毎に協力者が増えるような話や、塾生の考えが分かるようになってきました。

山野草の名前・特徴・見分け方に主力を置く説明も次第に姿を消し、専門話し、家庭の話してもできる雰囲気になりました。中・高年の多い塾生には健康と料理に関する話しが始めると座が和やかになり、一方通行の話しが誰もが話せる



藤で色紙をつくる

自遊塾副塾長 熊木 保子

「藤で色紙をつくる」って、それって一体なあにと思われがちです。何のことはない。カルチユーでは籠づくりその籠の材料を染色して、平に板編みをする。好みの形に鉄で切って、台紙となる色紙に接着剤で貼って完成となります。幼児から大人まで楽しく、簡単に作れます。

藤の歴史は古く、千二百年前に制作された「藤」（狩りをする時に矢を入れる物）が、島根県の出雲大社に国宝として保存されております。

色紙は、一般に絵画や書道、押花やちぎり絵等に利用されております。藤だつてできるのでは、と思ったのが二

雰囲気講座が進み、全員参加の講座内容になって来ます。

今では講座の回数を増やし一年中行つてほしいと云われるような楽しい仲間作りと、人の和が生まれ、開講日を中心にする人が増えました。

次の改善は講座の内容を改めることです。マンネリ化しやすい内容を次の項目を加味することでおもしろい内容になるように心がけています。

○自然と温暖化の影響

県内各地の山、川と動植物の関係

県内の地形誕生、韓国と県内の花との関係

○人はなぜ自然を求め、山へ行くのか

野外で体をいやし、健康倍増
山へ登ると気持ちが良い、体が

十数年前でした。

自遊塾ではユニークさが買われて、平成十一年より務めさせて頂いております。始めは試行錯誤の連続で、手探りの状態でしたが、塾生の皆様と出会うことによつて、お育て頂き回を重ねる度に、互いが上達してゆくのが実感としてありました。

講座は八回で、お一人二点の色紙を完成するようにしております。もう一点つくる方もおられます。近年は、リピーターの方もいらして講座の進行がスムーズになり、有り難く思います。

「完成の喜びは何事にも代えられない」と言われた時には、心地よい疲労感を感じております。

又、制作するには、各自が色を受け持つて平らに編むという、共同作業ですので、相手を敬い、助けられ、自

軽いのはなぜか

○自然のおもしろ不思議

地上と地下、発芽と成長、タネと花の関係

かしこい動植物の一生

○本に書いてない新しい発見
時と場所によつて新しい発見ができます

私だけが知っている不思議な発見

○山菜・薬膳・伝統食と植物の関係

山野草は殆ど食べることができません

採集・薬効・料理法の解説と実技体験

○健康と植物の関係
老化・メタボと動植物との関係
老化予防は山歩きで、健康と長

寿を保つ

然に会話が生まれ、温かい雰囲気の中に身の置ける幸せに感謝申し上げます。

自遊塾で、ゆとりを謳歌しながら、出会い、ふれあい、学びあい、実りある人生が送れましたならば、最高の幸せに思います。自遊塾に出会えて本当によかつたと思わずにはいられません。合掌



自遊塾で見つけたこと

県民教授と

塾生の声

旧立山街道を歩き、石仏と語ろう！


県民教授
岩井 宏

「旧立山街道を歩き、石仏と語ろう」のテーマで講座を始めたが、ただ富山の魅力、立山信仰について知って欲しい理由から始めた。幸いにも受講生から「参加して良かった」との声がたくさん聞かれ、受講生の熱意を感じそれが励みとなった。

毎回、同じコースを歩いても、必ず新たな発見、気づき、受講生や地元の人達からの教えがあった。それらに感謝したい気持ちでいっぱいである。


塾生
村上 京子

何十時間歩いたのだろうか。どれ程の数の石仏と出会い手を合せたろうか。紅葉の遅れた九月半ば室堂の三十三番石仏に辿り着いた。「進むに胸ふさがり退くに道なし」と恐れた獅子ヶ鼻禅定路では命がけの先人達の苦勞を味わった。途中、材木坂下りでは「深見チエ」（明治六年に女性として初めて立山に登った）まがいな目にもあった。

極楽浄土を願う先人達の心に触れたいと思ったたけなのに、いつの頃からか心が軽く楽になつて自分の自分に気づいていた。

自然美の転写アート

塾生 塾生
敦子

中身をきれいにし出した丸い卵の殻、白いハンカチ、道端や庭にさりげなく咲いている草花……。気がつく、身の回りには転写アートの素材が、いっぱいあります。木の葉に色を塗り重ね無地のスカーフに転写すると、世界に一つ、私のオリジナルスカーフの出来上がり。真にこれぞ「自然美のアート」です。

次は、何に転写するのか？ 月一回の中川先生の講座と、仲間にあうのが嬉しくて、毎回、自遊塾に参加しています。



自然の中でハーモニカを吹いてみよう

県民教授 塾生
孝

自然にふれれば歌の心がつかめ、それを表現できるはずだと信じ、屋外でハーモニカ講座をやってみました。初めての試みで、少々不安もありました。学習のために全員で調査と報告を分担したことが、塾生のチームワーク・情熱・充実感も予想以上に高められたように感じられ、ほっとしています。



この度の講座形態に一段の創意・工夫（学習地の選定、悪天候時の対応、集合方法など）を凝らし、塾生に役立つ講座にして行きたいと考えています。現在、塾生は自遊塾での学習を基礎にさらにこれを深化したいとサークルを立ち上げ継続しています。

塾生 島崎長一郎

自遊塾の「自然の中でハーモニカを吹いてみよう」という題目に魅せられて参加した塾生達。ハーモニカと一口に言うけれど年代によってそのイメージは異なるかと考えられます。使用した「複音21穴C調」のハーモニカは親しむにつれ「こんな音がでるのか、あんなこともできるのか」と毎日が驚きと発見の連続であり、奥深さを感じました。富山の豊かな自然（山・川・海・森林・公園など）の中でその雄大さ・美しさ・優しさなどの情景に合致した童謡、クラシックなどの懐かしい曲目をハーモニカで表現する楽しさを十分満喫できた講座であったと思います。

シュガークラフト

シュガーを彩る砂糖のアート

県民教授 塾生
咲子


自遊塾（この知的自由度の高いエネルギーの高い人々の集まりでみつけたこと）直截にいえば、自分の想いを表現する「時間・空間・チャンス」でしょう。自らプロデュースできるおもしろさ、シナリオどおりにいかない現実に解決の糸口を模索すること、開講から八年が経ちますが、常に学びがあることを実感します。そして人とのつながり、広がりという大きな財産。受講してくださった皆さん、サポートしてくれる仲間や周囲の理解に感謝。

塾生 中村 豊子

毎回新しいアイデアでお菓子をもっと魅力的にすることを教えてくれるシュガークラフト講座。私が以前に受講して持って帰った可愛い作品や楽しんで作る姿を見て、子供たちも一緒に作ってみたいと希望して親子三人お世話になりました。クッキーにお砂糖のアイシングをかけてちよつとおしゃれにしたり、自分の好きな模様を書いてお菓子の家を作ったり、自分好みにドレスアップさせたお菓子を作り大満足の子供達。親子共々いろいろできるシュガークラフトの虜になりました。

松下幸之助に学ぶ 人生哲学

県民教授 道嶋 一男

十五名の受講生にささえられて六回シリーズの講座を終えた。各人それぞれ的人生を楽しく生きてる姿に接し、教えることは学ぶことと実感した。「偽」に象徴される今の世相を、松下幸之助翁ならどう思うだろう。「素直な心」であることが、世界が平和で、「人と人」「人と自然」と共生していくことになる。今日ほど、実に大事な時であり、世界の人々が地球存続のために真剣に考え取り組んで行く必要がある年と思われる。

園田 伊藤 道哉

尋常小学校四年生で中退の少年が、たつた一代で世界的企業をつくりあげた松下経営哲学はいかにして生まれたのか、それは「人間への愛情」他人を思いやる心は、幼少のころからの奉公の体験と病弱から生まれたことと思われま。

適宜、映像または肉声のテープを通しての講座は豊富な資料と相俟って良く理解できて感銘を受けました。もっと早く現役の時に、この講座に巡りあっていたらと思いまし



県民教授の紹介

新たに講座を開く県民教授の一部を紹介します

腹話術人形で「笑い」の出前

皆さんは、「腹話術」と聞いて、どんなことを想像されますか？「あーあ交通安全のねえ」とか「いっしょくま」(フ)口)を思い出されるかもしれません。しかし、私たちは、素人「笑い」で少しでも「元気を」届けたいという、ささやかな目的で「腹話術」を勉強しています。

始めてみますと、見ているのは大違いで、なかなかのところがあります。が、題材は、日々の暮らしの中に「ごろごろ」また、単調な日常にも、アテンを巡らし、仲間が集まると、とにかく、にぎやかなことの上なします。また、最近では、笑いが体の免疫力を高め、病気の予防や改善に、効果が

並木 恵美

あると、大変に注目されています。関西地区の大学で研究をされているそうです。ボランティアで出かけた、会場のお客様は、一回、一回、皆様違います。それはまた、出させて頂く、「腹話術師(?)」にとっては、大変に勉強になります。

一期一会を大切に、技術のステップアップ(?)を目指せたらと願っています。また、この「自遊塾」の、ご推薦下さいました、ハーマニカの鍋谷先生、いろいろとアドバイスを戴きました。その他の皆様にも感謝をして、講座では、一緒に、楽しく勉強をいたしまし

医療の壁に

小杉 光世

患者さんと医者の関係がギクシャク不信感から激しい対立や訴訟が現実化しています。信頼関係が崩壊し、納得できない壁が立ちました。壁のない透明な顔が見える信頼を志向すべきでしょう。患者さんへの説明と納得のいく基本姿勢で働く一外科医ですが、診療外活動としてNPO法人AMSE(医療安全教育協会)で医療安全に取り組みんでいます。

何が壁で何故、どうして出来るのでしょうか？対話のスキルを学び対話を集約する共作活動で「医療の壁に」対処できれば私たちの安心安全医療と人生に寄与するものになると考えています。

認知言語のトリセツ

本田 悦人

日頃何気なく使っている表現に、気持ちや「ささささ」(お)いしい色)というのがあります。これらの言語現象には、それが説明できることばの仕組みがかくれています。認知言語学の道具を使って日英語を比較しながらその他のさまざまな説明モデルの仮説をいっしょに立ててみましょう。

想定される受講対象者は、日英語全般に興味のある方で、すでにこの頃の雑学を卒業され、さらにことばの減少を分析・説明する星館を求めている方を期待しています。いっしょに、「知の興奮」をお楽しみませんか。

新しい生き方を探る読書会

磯辺 文雄

先日「今日という日が最後なら」という映画を観て、自分なら何をしたいだろうかと考えました。映画を制作されたのは、二十代半ばの女性です。せつなくこの世界に産まれて、自分らしいことを何かやっておきたい。そう思うのは、年齢に関係なく、誰にでもあることなんですね。私たちは本当に毎日を大切に生きていくのかどうか、そこにどんな意味があるのか、自分の実感として考えてみたい。そんな時に、池田晶子さんとの出会いには、池がほとばしるような新鮮さがありました。この爽快感を皆さんと共有しながら、気持ちよく現代を生きる術を、一緒に考えてみる読書会です。ブログとも連携しながら、意見交換ができる場にしたいたいと思っています。

池田晶子さんの「人生ほんとう」

あの青春を再び！

水須 忠

私の小、中学校時代はハーマニカで、そんな青春時代を過ごされた皆さんとハーマニカを通じて人生・健康・音楽について語りませんか？小さい楽器ですが持ち運びも楽で色々な活動に持参して吹くことが出来れば楽しいものです。音楽を通じて多くの皆さんと友達になり、上手になったら多くの皆さんに聞いて貰いましょう。

ハーマニカと

音楽は「コミュニケーション」

大江美智代

現代社会で一番難しく、又必要とされていることは何でしょうか。一つは、人間関係、コミュニケーション能力といってもいいでしょう。一人で過ごすことは、とても気楽で疲れることも少ないようですが、何かうれいこととがあった時、家族や友人(仲間)がいいたら、どんなに楽しいことか、逆につらい時、一人でも聞いてくれる友がいいたら、気が楽になりますよね、音楽には、ステキな力があります。詞にはメッセージが込められ、優しくメロディが流れ、時には力強くリズムが打たれ、そして重なりあつてハーマニカができます。ハーマニカは調和。

音楽を通してステキなコミュニケーションができることを願っています。

新たな講座 創造力育成の発展をめざして 楽しもう紙芝居「KAMISHIBAI」 Toyama Festival 2007

県民教授 佐伯喜美子

昨年、八月二十六日(日)・二十七日(月)両日、青少年育成富山県アドバイザー協議会と県民カレッジ自遊塾が主催、併せて、第三回、紙芝居コンクール本大会を富山県民小劇場で、プレ大会は、射水市中央図書館で開催し、二百七十名が集まりました。本大会は、全国初めてのシンポジウム・トークと紙芝居コンクールは、紙芝居界、トップの研究者が紙芝居の過去・現在・未来像を探り、意見を交換。演じて「日本伝統の文化財」紙芝居の独自性を追求して、観客参加者は、瞳が輝き、臨場感と共感の喜びを共有して、心も体も感動の雰囲気会場は包まれました。

県内外の参加者は、大会の趣旨のもと、子育てや青少年の健全育成と若者たちの想像力を養う、前向きなあり方を楽しく学び合い、心に刻み、まさに、生涯学習と人づくり育成の美りある大会でした。

大会の内容を紹介

■本大会 八月二十七日(月)

富山県民小劇場 オルビス

○シンポジウム

紙芝居の過去・現在・未来像を語る――

コーディネーター……堀田 稔

(京都学芸大学教授)

シンポジスト……右手 和子

(画像・実演家)

○実演

「これは ジャックの たてたいえ、やへみつのり」

「モチモチの木」 右手和子

■プレ大会 八月二十六日(日)

射水市中央図書館

○トーク 演じる魅力の世界――

堀田 稔 (京都学芸大学教授)

やへみつのり

(絵本作家 紙芝居作家)

右手 和子 (画像 実演家)

日下部茂子 (編集者 紙芝居研究会)

○実演 「黄金バット」堀田 稔

「くしろのしま」右手和子

「あひるのおおさま」日下部茂子

「ふるさと伝承紙芝居」展示

■第三回「手づくり紙芝居コンクール」

テーマ 心を育む 紙芝居の魅力 全国各地から

「生きる喜び」の紙芝居や「命の尊さ」「食育」「民

話」など実に、沢山の作品が集まり、わくわくドキ

ドキの魅力ある心に残る作品に出会いました。

審査には、自遊塾から、第一次審査に松本塾長が

加わり、練りに練った作品の幅の広がり子どもの

生き生きとリアルに描かれた素晴らしい作品が最終

審査されました。結果、

一 ジュニアの部門 優秀賞 富山市ピノキオ保育園

一 一般の部門 優秀賞 入善町青い鳥の会代表 船平隆子

一 自遊塾、子どもの創造性講座から三点受賞しまし

た。来年度に向け、一層、研鑽を重ね、挑戦と応

募をお願いします。

平成20年度 講座名 子どもの創造育成と「紙芝居」と変身します。

第2回 楽しもう紙芝居 とやま大会 第4回 手づくり紙芝居コンクール作品募集

ご案内

日本独自の「文化財」[KAMISHIBAI]は、今、世界に羽ばたいています。

更なる伝統文化の継承と紙芝居の質向上と創造力を高め、心に残る楽しい作品を募集します。

【テ-マ】 新たな紙芝居の創造と魅力の世界へ誘う

【期 日】 1. 8月19日(火)午後1時30分~4時]2日間

2. 8月20日(水)午前10時30分~12時

【会 場】 富山県民小劇場オルビス(マリエとやま7F JR富山駅前)

☎076(445)4531

【内 容】 1. トーク・最終審査 実演公開

「影絵芝居と紙芝居」審査発表

2. トーク「影絵芝居と紙芝居」表彰 講評 実演

3. トーク 堀田 稔(京都学芸大学教授)

宮崎二美枝(紙芝居作家・実演家)他

【応募期間】 2008年6月20日(金)~8月2日(土)

【応募資格】 幼児以上の方、アマチュアに限る。

※入賞作品は不可

※ジュニア部門(中学生以下)・一般部門(高校生以上親子作品)

【応募規格】 手づくり作品で未発表。個人又は、共同作品1点。

サイズ縦約27cm×横約39cm(大型・立体・不可)

1作品15分以内

【審査方法】 第一次審査 8月4日(月)

第二次審査 8月9日(土)

最終審査 8月19日(火)実演

【その他】 チラシ・募集要項書は、4月上旬までに団体サー

クルに配布。個人の方は、請求ください。参加無料

【問い合わせ-送付先】

〒930-2226 富山市八町4188

☎076(445)1295 実行委員会

めげずに 作ろう 紙芝居

紙芝居 作ろう どのしいな!

楽しんで もっともっと どのしいよ!

自遊塾「富山の名水探険」 開講十周年記念 パーティー大盛会

塾生 石川 道子

県内の名水を訪ねて試飲や学習会を行う自遊塾「富山の名水探険」は、平成十年に開講し、今年度で十周年を迎えた。

岡野喜美さんが、同講座の県民教授を務め、十年間で延べ二百名の塾生と交流してきた。初回は四力所だった名水探険が、今では一年間に四十五力所になり、訪れた県内の名水は計六十力所あまりになった。毎年、講座は八回で修了するが、番外編の他県の名水探険等を含めた修了生も交えて実施し、ふれ合いを深めてきている。

開講十周年記念パーティーは、一月二十六日(土)富山市職員会館で開かれ、講座の修了生ら約五十人が節目の年を祝った。会場では、受講生らが作成した十周年記念冊子「十年の歩み」が配布された。

来賓に県民カレッジ池田安人副学長・中尾公一学習専門員・自遊塾松本慎一塾長を迎え、岡野さんが「十年間も続けられたのは皆さんのおかげ」と感謝の言葉を述べた。パーティーは、にぎやかに進行し、腹話術やチンドン・ひも手品・ビンゴゲーム・ダーツの抽選会・カラオケ等のアトラクションで大いに盛り上がった。また、塾生制作の湯飲みや綿菓子・鉢花等の景品そしておみやげのおかめ饅頭と趣向が盛り沢山あり、五年後・十年後の会を期待している声も聞かれた。



編集 雑感

中嶋 昭三

自遊塾講座で、楽しく学べる場があることは、大変幸福な事です。講座の受講を通して、自分自身の成長に役立させて、いろんな可能性を伸ばしていきたいものです。インターネット時代になって来ており、いろんな情報が、簡単に手に入られる有り難い時代になってきているので、学ぶ(情報の収集)ことから、それを活用して、考えることへと展開したらさらに実りあるものができると思います。学ぶことは、それ自体大変楽しいことでもありますが、継続していくためには、共に学ぶ仲間がいることが大切であり、その機会を得ることができる自遊塾講座を今後も、活用したいと思っています。



ご意見、ご感想、
投稿などお待ちしております

県民カレッジ 自遊塾係

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1

TEL 076-441-8401

FAX 076-441-6157

E-mail: admin@tkc.pref.toyama.jp

http://www.tkc.pref.toyama.jp/